



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月13日

上場会社名 中越パルプ工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 3877 URL <http://www.chuetsu-pulp.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 明美

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部副本部長兼管理部長 (氏名) 石原 秀樹

TEL 0766-26-2404

四半期報告書提出予定日 2020年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	72,319	2.0	1,276	—	1,274	—	562	—
2019年3月期第3四半期	70,873	1.4	△1,563	—	△1,233	—	△1,295	—

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 807百万円 (—%) 2019年3月期第3四半期 △1,720百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	42.15	—
2019年3月期第3四半期	△96.99	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	122,230	48,601	39.7	3,636.62
2019年3月期	123,646	48,461	39.2	3,625.99

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 48,553百万円 2019年3月期 48,412百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2020年3月期	—	25.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	99,600	3.0	2,400	—	2,350	—	1,300	80.2	97.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	13,354,688 株	2019年3月期	13,354,688 株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2020年3月期3Q	3,532 株	2019年3月期	3,104 株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期3Q	13,351,403 株	2019年3月期3Q	13,352,015 株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び当社が合理的であると判断した一定の前提に基づいた見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、今後様々な要因の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

紙パルプ業界を取り巻く環境は、電子媒体へのシフトや少子・高齢化による構造的問題のため今後も一層厳しい情勢が続くことが予想されます。

このような状況下、当社グループは、いかなる情勢の変化にも対応し、リスクを吸収できるしなやかな企業グループの基盤を構築するため、中期3ヶ年計画『フォワード304』を策定し、2020年度末に営業利益30億円、ROE 4%の収益基盤の確立に向けて取り組んでおります。安定操業を第一にパルプ事業の強化や新たな紙の価値を創造し、基幹事業である紙パルプ事業の収益基盤強化の取組みを進めています。2017年10月に営業運転を開始したO&Cアイボリーボード株式会社の高板・加工原紙事業の収益基盤強化を図り、当社が得意とする食品容器分野において、脱プラスチックへの時代の流れとともに需要開拓を強力に進め、高効率操業を達成して、早期に収益貢献できる体制の構築に取り組んでおります。また、当社高岡工場内に高機能CNFパイロットプラントの建設を決定し、2021年4月稼働予定に向け取り組んでおります。さらに当社高岡工場内に重量ベース51%以上の紙パウダーと合成樹脂とを混合したプラスチックでも紙でもない新素材「マブカ」の製造工場を2020年秋竣工に向けて建設中であります。高付加価値な製品を安定的に生産する体制を整備するとともに、新規事業分野の開拓を積極的に展開してまいります。

当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、パルプ市況軟化の影響はありましたが、印刷用紙等の価格復元や安定操業の取組みにより前第3四半期連結累計期間と比較し増収・黒字転換となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

連結売上高	72,319 百万円	(前年同四半期比 2.0%増)
連結営業利益	1,276 百万円	(前年同四半期は 1,563 百万円の連結営業損失)
連結経常利益	1,274 百万円	(前年同四半期は 1,233 百万円の連結経常損失)
親会社株主に帰属する四半期純利益	562 百万円	(前年同四半期は 1,295 百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)

## (紙・パルプ製造事業)

## ◎ 新聞用紙

新聞用紙の販売につきましては、新聞各社の発行部数の減少と広告減が影響した頁数の減少に歯止めがかからない状況が続いており、数量・金額ともに前年を下回りました。

## ◎ 印刷用紙

印刷用紙の販売につきましては、紙媒体から電子媒体へのシフト等により国内需要の漸減傾向は続いておりますが、販売価格の復元が収益に寄与しました。

## ◎ 包装用紙

包装用紙の販売につきましては、米麦袋のフレコン化、作付面積の減少の影響を受けて国内販売量は前年を下回りましたが、販売価格の復元が収益に寄与しました。

## ◎ 特殊紙・板紙及び加工品等

特殊紙・板紙及び加工品等の販売につきましては、需要が堅調な壁紙等で拡販に取り組んだことやO&Cアイボリーボード株式会社への高板・加工原紙の生産移管が進展した結果、数量・金額ともに前年並みを確保しました。

## ◎ パルプ

パルプの販売につきましては、当社川内工場の停止が前年と比較し長期間であったことや、海外のパルプ市況の軟化もあり数量・金額とも前年を下回りました。

これらにより、当事業の業績は以下のとおりとなりました。

連結売上高	63,629 百万円	(前年同四半期比 2.0%増)
連結営業利益	248 百万円	(前年同四半期は 2,564 百万円の連結営業損失)

## (発電事業)

発電事業につきましては、安定操業に努め前年並みの売上となりました。しかしながら、当社生産本部二塚製造部において隔年で行っているボイラーの定期検査があったことにより減益となりました。

これらにより、当事業の業績は以下のとおりとなりました。

連結売上高	5,136百万円	(前年同四半期比 1.5%増)
連結営業利益	884百万円	(前年同四半期比 2.8%減)

## (その他)

当社高岡工場において前年と比較し工場の操業度が向上したため、紙断裁選別包装・運送事業等の紙・パルプ製造事業を補助する「その他事業」につきまして増収・増益となりました。

これらにより、当事業の業績は以下のとおりとなりました。

連結売上高	14,767百万円	(前年同四半期比 3.0%増)
連結営業利益	83百万円	(前年同四半期比 871.7%増)

## (2) 財政状態に関する説明

## (総資産)

現金及び預金が、主として金融機関からの借入金を返済したため2,140百万円減少したことなどにより、総資産は前連結会計年度末に比べて1.1%減少し、122,230百万円となりました。

## (負債)

金融機関からの借入金が1,773百万円減少したことなどにより、負債合計は前連結会計年度末に比べて2.1%減少し、73,629百万円となりました。

## (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末とほぼ横這いの48,601百万円となりました。これは主として、配当金の支払い667百万円による減少はありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益562百万円、その他有価証券評価差額金が254百万円増加したことなどによります。また、自己資本比率は、前連結会計年度末とくらべて0.5ポイント増加し、39.7%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年10月23日に公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」における業績予想から見直しは行っておりません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,918	3,778
受取手形及び売掛金	24,156	24,820
商品及び製品	8,751	8,871
仕掛品	541	549
原材料及び貯蔵品	5,593	6,417
その他	2,714	3,490
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	47,672	47,924
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	50,030	50,264
減価償却累計額	△32,527	△33,382
建物及び構築物（純額）	17,502	16,882
機械装置及び運搬具	239,172	240,156
減価償却累計額	△207,477	△209,742
機械装置及び運搬具（純額）	31,694	30,414
その他	11,379	12,834
減価償却累計額	△2,925	△2,959
その他（純額）	8,453	9,874
有形固定資産合計	57,650	57,171
無形固定資産		
その他	217	262
無形固定資産合計	217	262
投資その他の資産		
投資有価証券	7,852	7,908
その他	10,359	9,072
貸倒引当金	△106	△107
投資その他の資産合計	18,105	16,872
固定資産合計	75,974	74,306
資産合計	123,646	122,230

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,277	15,868
短期借入金	25,572	32,829
未払法人税等	272	133
賞与引当金	455	140
その他	4,351	5,290
流動負債合計	46,928	54,261
固定負債		
長期借入金	22,835	13,804
関係会社事業損失引当金	53	51
退職給付に係る負債	5,218	5,367
その他	149	142
固定負債合計	28,256	19,367
負債合計	75,185	73,629
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,864	18,864
資本剰余金	16,253	16,253
利益剰余金	13,063	12,959
自己株式	△6	△7
株主資本合計	48,175	48,069
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	653	907
為替換算調整勘定	△35	△63
退職給付に係る調整累計額	△380	△361
その他の包括利益累計額合計	237	483
非支配株主持分	48	48
純資産合計	48,461	48,601
負債純資産合計	123,646	122,230

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	70,873	72,319
売上原価	60,622	59,383
売上総利益	10,251	12,935
販売費及び一般管理費		
販売手数料	4,039	3,697
運搬費	4,238	4,308
保管費	1,110	1,127
その他	2,425	2,525
販売費及び一般管理費合計	11,814	11,658
営業利益又は営業損失(△)	△1,563	1,276
営業外収益		
受取利息	78	71
受取配当金	155	127
為替差益	111	-
持分法による投資利益	136	-
その他	90	92
営業外収益合計	572	291
営業外費用		
支払利息	171	169
為替差損	-	17
持分法による投資損失	-	5
その他	71	100
営業外費用合計	242	293
経常利益又は経常損失(△)	△1,233	1,274
特別利益		
投資有価証券売却益	-	1
固定資産売却益	3	52
関係会社清算益	-	2
特別利益合計	3	56
特別損失		
固定資産除却損	260	273
特別退職金	36	3
投資有価証券評価損	-	238
その他	-	3
特別損失合計	297	517
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,527	812
法人税、住民税及び事業税	47	103
法人税等調整額	△279	147
法人税等合計	△231	251
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,295	561
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,295	562



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,295	561
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△317	237
退職給付に係る調整額	23	17
持分法適用会社に対する持分相当額	△130	△8
その他の包括利益合計	△425	245
四半期包括利益	△1,720	807
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,720	808
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	紙・パルプ 製造事業	発電事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	59,949	5,058	65,007	5,866	70,873
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,414	—	2,414	8,475	10,889
計	62,363	5,058	67,422	14,341	81,763
セグメント利益 又は損失(△)	△2,564	909	△1,655	8	△1,647

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ナノフォレスト事業、紙加工品製造事業、運送事業、設備設計施工・修理事業、原材料事業、紙断裁選別包装事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	△1,655
「その他」の区分の利益	8
セグメント間取引消去	62
固定資産の調整額	13
その他の調整額	7
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△1,563

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	紙・パルプ 製造事業	発電事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	61,046	5,136	66,183	6,136	72,319
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,583	—	2,583	8,630	11,214
計	63,629	5,136	68,766	14,767	83,533
セグメント利益	248	884	1,133	83	1,216

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ナノフォレスト事業、紙加工品製造事業、運送事業、設備設計施工・修理事業、原材料事業、紙断裁選別包装事業、マップカ事業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	1,133
「その他」の区分の利益	83
セグメント間取引消去	60
棚卸資産の調整額	△12
その他の調整額	11
四半期連結損益計算書の営業利益	1,276

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。